

事務事業名	公営住宅等ストック改善事業	所属部	建設部	所属課	建築住宅課
政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち《定住環境》	所属G	建築営繕グループ	課長名	神庭 和幸
施策名	〈09〉都市・住まいづくりと土地利用の推進	担当者名	石原 優奈	電話番号	0854-40-1065
目的・対象	市内全域	意図	有効かつ効果的に利用・整備する。	(内線)	2453
基本事業	〈027〉居住環境の整備促進	予算科目	014002	大事業名	公営住宅建設事業
目的・対象	市内全域	意図	居住環境が向上する。	中事業名	公営住宅建設事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
公営住宅	・質の向上(居住性向上、福祉対応、安全性確保、長寿命化、省エネルギー)
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返(年度～) ☒ 期間限定複数年度 (R元 年度～ R10 年度)	「雲南市公営住宅等長寿命化計画」に基づく公営住宅のストック改善事業 ・事業期間: R元～R10年度(長寿命化計画期間) ・改善計画戸数: 151戸(三刀屋18戸、萱原30戸、西の原30戸、阿用10戸、深野4戸、平岩9戸、大多和10戸、三刀屋40戸) ・改善計画内容: 住戸改善(給湯設備設置、浴室改修、手摺設置、ベランダ改修)、共用部分改善(共用階段手摺設置、共用部照明LED化)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) ・阿用団地10戸: 便所・浴室手摺設置 ・深野団地4戸: 屋内階段・便所・浴室手摺設置 ・平岩団地9戸: 便所・浴室手摺設置、電気容量増設 ・大多和団地10戸: ベランダ改修	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 現状把握に基づき住宅ストック活用手法を定め、住宅長寿命化と管理コスト縮減を図り良好な住宅ストック形成を目指すため、平成30年度に「雲南市公営住宅等長寿命化計画」を策定。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 公営住宅住戸改善進捗率	%	31.8	51.7	73.5	100.0
イ 公営住宅共用部分改善進捗率	%	50.0	100.0	100.0	100.0
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
・設計費…1,543千円 ・工事費…14,974千円 【内訳】阿用団地…2,145千円 深野団地…2,006千円 平岩団地…4,914千円 大多和団地…5,909千円 【合計】16,517千円 ※国庫支出金: 社会資本整備総合交付金 地方債: 公営住宅建設事業債	財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円	2,610	1,307	5,463	8,280
	事業費計	千円	4,037	6,632	16,517	23,000

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	住宅性能の向上を図ることができ、市民が安全・安心に暮らすことができる。
② 事業実施するうえでの課題	設備の改善を図るとともに、利便性の向上も図る。 一般財源の支出抑制に努め、適正な事業費で整備を行う。
③ 課題解決に向けた改革改善等	公営住宅等長寿命計画に沿って、計画的に住戸・屋外改善を進めた。 社会資本整備総合交付金を活用し、事業費の約3割を充当した。